

安全な水を大切にするため

日新小三年 岡部 希美

「えっ！」

私は、安全な水が不足していることを知って
おどろきました。その理由は、世かいては約
十一億人が安全な水を使うことができないじ
ょうたいだと言われていることが分かったか
らです。私たちのすんでいる日本では、当た
り前のように安全な水道水を使っています。
じや口をひねればきれいで安全安心の水が出

てくるからです。

水は、植物から人類まで地球上すべての生
き物にとってかかせないものです。私たちが
使っている水のりょうが気になって調べてみ
ました。するとさいていげんのえい生てきな
生活をするのに、一日二十リットルの水がひ
つようだということが分かりました。一日に
使う水のりょうを計ってみようとしても計り
きれません。それぐらいとてもたくさんの水
を使っています。でも、世かいてはえい生て

ぎでないトイレが原いんで毎日四千あまり
の子どもが命をおとしているそうです。不
い生なトイレよ。て、コレラなどのかんせん
しょうになってしまい、死んでしまうのです。
考えるだけで私はとてもかわいそうな気持ち
になりました。

私は、学校や家で使う水道水をなかなか止
めなかったり、おふろの時のシャワーの水を
出しすぎたりしてしまいます。しかし、この
ことを知って、水をむだ使いしないようにし

ようと思いました。このような小さな行動が
世かいの人びとのけんこうにつながるのだと
思います。私のちよとした行動で命をすく
うことができるかもしれないのです。私にで
きることを考えてみました。たとえば、私は
いつも花や野さいに水をあげる時に水道水を
使っています。それを雨がふる日にじょうろ
やバケツなどを外において雨水をためて、そ
の水を花や野さいにあげるようにしたいと思
います。このような小さなエふうをかさねて

いぎたいです。安全な水を使うことがで
きない人たちのために、水をむだ使
いしないようにがんばります。